

みんなの目・芽・めっ

No.112

2021年/7月

発行 特定非営利活動法人住みよいあさくらをめぐす風おこしの会 理事長 星野洋子 事務局 別府 ☎ 0943-72-4152

続く「コロナ禍」！の中、本年度の総会を開催しました

昨年から続くコロナ禍、残念ながら収束の見通しが立たず、とうとう2年目に入ってしまった。昨年の総会は書面表決を取り、議事録署名人を加えた最小人数で行いました。しかし、今年は5月から緊急事態宣言がなされ、どうしたものかと思いつつも、会場の予約はしていました。



というのもNPO法人は、毎年1回必ず総会を開催することが義務づけられており、総会の省略は出来なからです。オンラインでの開催も認められますが現状では難しく、昨年から続くコロナの感染拡大で出席者の激減が予想されたので、書面表決はせずに感染防止対策をとり、委任状と関係者で総会を乗り切りました。



2021年度総会の様子

日時:5月29日(土)10時~11時

出席者数:37名(参加者15名 表決委任者22名)

<正会員数47名>

定足数確認のあと、議長選出・議案審議に入り出席者全員の賛成を得て6項目のすべての議案が原案通り可決。役員改選では理事7名と監事2名が選出され2021年度が始まりました。

総会終了後は、会員でもある中嶋玲子県議の県政報告です。県議のモットーは「生活者の視点」。紙面で県政報告は頂いていますが、説明があると身に浸みて伝わってきます。

近年、風おこしの会は地域コミュニティへの啓発に力を入れて来ましたが、今年も引き続き取り組むべく、コミュニティへの発信を行政の関係課を通して行なう予定です。(コロナでどれだけの依頼があるかは疑問ですが)また、今までとは全く違った制約の中で、オンライン会議などの新しい取り組みは、いまや日常化してきました。受け身ではなく主催者側として発信できる技能が求められます。

それにしても、今の社会は何が起きるかわからない(コロナがそうであったように)先行き不透明な時代といわれています。ただ、どんな時代であれ、社会は人間の幸せを希求していることに変わりはありません。誰もがその人権を尊重され、自分らしくいきいきと安心して生きていけること(社会)。暮らしを見つめながら、多様な人たちの可能性を活かして新たな時代を生き抜いていく努力を皆さんと共に続けて行きたいと思えます。

(星野洋子)

2021年度 事業計画

はじめに（計画にあたって）

世界経済フォーラム「ジェンダー・ギャップ指数 2021」では、日本は、世界 153 か国中第 120 位という低い水準に留まっており、女性参画の推進に向けた取り組みが喫緊の課題となっています。これは、なにも女性だけの問題ではなく、はるか向こうのことでもありません。私たちには地域の現実を見据えた取り組みを進めることが求められています。

性別にこだわらず、誰もが主体的にあらゆる場へ積極的に参画することにより、多様な力が活かされ新しい展開が生まれていく。そんな希望と確信をもって下記の講座を計画しました。

具体的には今からですが、多くの方の参加をお待ちしています。

講座 1 女性の参画を進める連続講座(3回)

- 日 時： 9月・10月・11月
対 象： 関心がある方どなたでも(男性の参加歓迎)
会 場： 朝倉市
内 容： 具体的な内容はチラシでご案内します



イメージ

講座 2 男女共同参画出前講座

- 朝倉市(朝倉市男女共同参画センターあすみん及びふるさと課)との連携で進めます。
対 象： 朝倉市内コミュニティ
会 場： 各コミュニティ
日 時： コミュニティの要請による



2020 年度出前講座風景

講座 3 スマホに強くなろう ―デジタル社会に向けて―



おうち時間が増加しオンライン会議や飲み会が増えました。オンライン会議はパソコンがなくてもスマホでの主催、参加が可能です。少しの学びで使いこなせる優しい研修会を計画します。

●日時及び会場等は後日チラシ等でお知らせします。

風おこしフォーラム 2022年2月予定 会場:筑前町男女共同参画センター リブラ

年間事業活動の集大成ともいえる例年の取り組みです。

今年度のフォーラムはコロナ収束後の取り組みであることを願っています。

テーマについては会員の皆様からも積極的なご意見を戴ければ幸いです。

※コロナ感染状況により変更する場合があります。

リモートでイベントに参加

昨年(2020年)2月予定されていましたが飯塚市、嘉麻市、桂川町合同での「女性活躍推進事業」イベント開催が新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっていました。一年後の今年(2021)年2月21日リモートで配信され風おこしの会員と声をかけられた知り合いの方も加わり10名ほどが参加しました。しかしながら、行政のオンライン環境ではセキュリティ保護のためYouTubeは視聴不可能とわかり、急遽、センター長に音声だけを取り込んでいただき聴くことができました。

「私と地域 ともに輝く」～人生山あり谷あり あの中嶋玲子さんにきく～

基調講演は中嶋玲子さんが演題「女性活躍 わたし流」で講演されました。いつものように元気づけられる講演でした。一人でも多くの女性が活躍できるように『中嶋玲子語録』“私であれば頑張ります！” “慣れていませんけれど頑張ります！” “我を生かすには、我が町を活かすほか道はなし” “出来る人ができるときに少し無理をする”を現実的に分かりやすく話されました。

パネリストは、40歳代と50歳代の女性で目標をクラウドファンディングで達成された方と、独立起業された方がまさに「山あり谷あり」のこれまでをお話されました。必要以上に女性だからと意識し過ぎることなく地域の課題を目標に“我を生かすには、我が町を活かすほか道はなし”と実際に取り組んでこられたのではないかと感心しました。

また、今年3月28日福岡県男女共同参画センター「あすばる」主催の「大交流会」もリモート(zoom)のweb会議形式で開催されました。70名近い(登録は84名)参加者との交流を体験しました。風おこしの会からは星野・師岡・真子・内山が参加しました。「あすばる」センター長神崎さんの挨拶の後、福岡県内の様々な地域の方とグループに分かれて交流でき楽しい機会をリモートで体験できました。(内山育子)

「デジタル化を推進することは、日本が抱えてきた多くの課題の解決、そして今後の経済成長にも資する。単なる新技術の導入ではなく、制度や政策、組織の在り方等をそれに合わせて変革していく、言わば社会全体のデジタル・トランスフォーメーションが「新たな日常」の原動力となる。」

内閣府デジタル改革関連法案ワーキンググループ作業部会
『令和2年12月25日 デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針』より

「男性産休」改正法成立

男性の育児休業の取得を促す改正育児・介護休業法が、去る6月3日衆院本会議で可決成立しました。子どもの出生後8週間以内に最大週4週分の休業を取得できる「出生時育児休業(いわば男性の産休)」が2022年度中に施行され、来年秋にも導入される見通しだそうです。今回の改正では、子どもが生まれてから8週間以内に、計4週分の休みを2回に分けて夫のみが取得できます(女性の産休は従来通り)。男性が育児に関する制度を利用しようとしても、嫌がらせを受けたり妨害されたりする被害をパタハラと呼ぶそうですが、今回の改正法が男性の育児休業取得をすすめる追い風となることを願います。(高木静子)

「パタハラ」とはパタニティー・ハラスメントの略。パタニティー(Paternity)は英語で“父性”を意味し、男性が育児参加を通じて自らの父性を発揮する権利や機会を、職場の上司や同僚などが侵害する言動におよぶことを、パタニティー・ハラスメントと呼びます。女性社員の妊娠・出産が業務に支障をきたすとして退職を促すなどの嫌がらせをすることを指すマタハラ(マタニティー・ハラスメント)に対して、パタハラは男性社員が育児休業をとったり、育児支援目的の短時間勤務やフレックス勤務を活用したりすることへの妨害、ハラスメント行為を指します。(出典:『日本の人事部 人事労務用語辞典について』2013年8月26日追記)

地域の男女共同参画センター情報

○筑前町男女共同参画センター リブラ

① 共に輝くための男女共同参画セミナー「男性料理教室」

料理を楽しみながら、情報交換の場をもちませんか？

定員：12名

期間：~~6/5・7/2~~・8/7・9/4(全4回 第1土曜日 受講料：無料 申込：0946-23-1533

② 男性の家事応援講座「プロに学ぶ洗濯の基礎とコツ」

日時：9月3日(金)18:30～20:30 受講料：無料 申込：0946-23-1533

○朝倉市男女共同参画センター あすみん

令和3年度 男女共同参画推進事業 子育て支援「親子ものづくり講座」

目的：親子でものづくりに挑戦し夏休みの親子の思い出づくりを通して、男性も女性も子育てを支援する。

日時：7月31日(土)10:00～12:00

場所：朝倉市杷木地域生涯学習センター「らくゆう館」創作室

定員：5組(10人程度) 申込：0946-62-3375

受講料：200円(1人)

材料代：1,000円(1人1作品：木製スプーン・木製フォーク・木製バターナイフ・料理用木ベラ等から選ぶ)

講師：東峰村ツーリズム協会会長小野豊徳さん 活動ネーム：東峰木人(とうほうこびと)さん、木工作家

～風の音～

昨年より「風おこしの会」に加入させて頂き、なんの実績もなく、いきなり理事を拝命し面くらっております。机上の空論ではない、膝を突き合わせての啓発活動に共感し、「風おこしフォーラム」のお仲間に参加したいと思いました。

今はまだ声を出して言えるようになっただけましかなと感じていますが、それでも40年以上前からたいして変わらぬセクハラ・マタハラの実状……。命あるものすべてを敬い、大切にしたい。世の差別や不条理をなくすことになると信じて！！よろしくお願ひします。

(野田暁子)

～編集後記～

今年の梅雨入りは例年より20日ほど早い5月15日だった。麦も黄金色となり、収穫前の長雨は大きな痛手である。そこで梅雨の晴れ間の例年より早めの収穫となったようだ。すぐに耕して田植えの準備、一面に水が張られ早苗が植えられていく。田んぼの変わりゆく風景は心を和ませてくれる。

今年の夏はどんな気象状況なのか、近年の大雨を思い出し不安が募る。季節を楽しみながら、自然の営みに命を頂き、無事に秋の収穫を迎えたいものだ。

(別府恵子)

携帯やスマホからQRコードアプリを使って右のQRコードを読み込めば、風おこしの会のサイトへ簡単にアクセスできます。ぜひ試してみてください！



←フェイスブック
風おこしの会 HP→

